

令和 4 年度 第 2 回 大阪市立堀江小学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立堀江小学校

校 園 長 名 高橋 純一 (印)

日 時		令和 4 年 11 月 14 日(月)	
場 所		大阪市立堀江小学校	
出席者	委員 など	増村孝 (会長) 田上治雄 (副会長) 亀澤芳美 (委員) 松本篤史 (委員) 一安修美 (委員) 木元篤子 (委員)	
	校 園	高橋純一 (校長) 古川美佐子 (副校長) 宮本純 (教頭)	
	区役所	江原勝弘	
議 題		・ 令和 4 年度 「運営に関する計画」 の中間評価 ・ 学校の状況 (教職員関係、子ども関係、保護者関係) ・ その他 (運動会・西学舎進捗・標準服 等)	
協 議 要 旨	協議の結果		意見の概要
	(1)	○「令和 4 年度運営に関する計画」 中間評価について ・ 全員一致で承認される。 ○教職員関係	○いじめようと思っていなくても受け取る側がどう聞くか分からない。学校だけでは対応できないので、家庭も一緒にやっていかないといけない。親が何がいけないか小さい時からちゃんと教えないと子どもは分からない。 ○低学年と高学年では質が違う。何でも大人が手を出すのではなく、子どもが解決できることもあるので、いかに安心して失敗できる環境があるかが大事。 ○残業を減らしたのはすごいこと。令和 5 年から業務負担を減らすために自校採点システムや出欠のアプリを大阪市が導入予定である。
	(2)	○子ども関係	○SNS を子どもは使いこなすが、使い勝手がいい分、逆に凶器にもなる。 ○登下校の通学路は、みおつくし安全会では決まった通学路を通らないとおりにないが今は安心・安全を大事にしてこの通学路を推奨しているという言い方になっている。 ○学力は全国平均より高い。子どもは体を

			<p>動かしたいが遊び場がない。</p> <p>○PTA で、あだ名を相手がどう思うかの課外学習をしてはどうか。</p>
	(3)	○保護者関係	<p>○そんな言葉を教えてないのにどこで覚えてくるのか。きたくない言葉を子どもに聞かせないようにしている。</p> <p>○学校はいじめアンケートの結果を保護者に伝え、家でも話し合ってもらうように啓発を行っている。</p> <p>○虐待、問題行動、不登校などは他機関と連携して適宜対応している。昨年より減少傾向にある。</p>
	(4)	○その他	<p>○運動会はほとんどの保護者がよかったと回答している。ただし、保護者の観覧ゾーンなど来年に向けての課題もある。</p> <p>○西学舎の物品の契約に向けて動き出している。</p> <p>○冬服の長ズボンを今年度から導入し希望者は着用している。夏服についてはジェンダーに関わる配慮もあり第3の服を検討しているがすすんでいない。</p>
協議資料	① 令和4年度「運営に関する計画」の中間評価 ② 校内研修について ③ 保健関係の基礎データ ④ いじめアンケート ⑤ 「学力」の現状について～全国学力・学習状況調査の結果～ ⑥ R4教育活動アンケート（児童全体） ⑦ R4教育活動アンケート（保護者全体） ⑧ 虐待・問題行動・不登校など現状 その他 運動会アンケート		
備考	傍聴者[0]名		